

題材名「世界の小学生のくらしを知ろう」

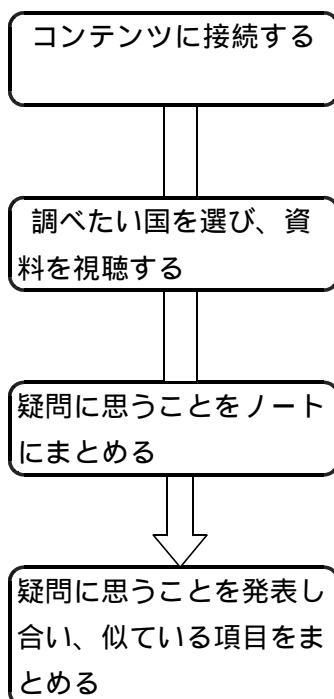
目 標

・日本と関係の深い国々の様子を調べ、ゲストティ - チャ - との交流を通して他国の文化について知る

コンピュータを活用する利点

各国の小学生の一日が、「家族の様子」「朝の様子」「学校生活」「放課後」「夕食」などの場面に分けて動画で紹介してある。児童は、自分の興味のある場面を選択して見ることができる。選択したい項目をクリックするだけなので、操作は簡単であり、繰り返し見ることできる。

授業の流れ



ICT 活用場面

6学年の社会科に「日本と関係の深い国々」の学習がある。日本と関係の深い国々の様子を調べ学習を中心に学習していく単元である。そこで、八千代区の3つの小学校で、地域に在住されている韓国・中国・オーストラリア・アメリカの方を招き、各国の文化について話を聞く交流学习を計画した。

事前学習として、これら4つの国についての概要を知るためにコンテンツを使用した。

児童を4つのグループに分け、どこの国を中心に調べるかを決めた。自分の調べる国についてのコンテンツを選び、小学生の一日の様子を見ながら、日本との違いや似ているところをノートにメモした。その他の3つの国についても、概要を知るためにコンテンツを使用した。次時に、コンテンツを使用して調べたことをもとにして、ゲストティーチャーへの質問をグループごとに話し合い、交流学习に備えた。

動画なので、各国の様子がよくわかり、興味を持って取り組んでいた。とくに、学校の様子が自分たちとは違うことに興味を持ったようだ。教科の種類の違い・日課表の違いなど、熱心にノートに書き写していた。



成果と課題

動画であることが、児童が興味を持って取り組める1つの条件である。使用したコンテンツは、各国の様子が動画で紹介してあるので、小学生の一日がよくわかる。とくに、授業の様子や食事の違いがよくわかった。また、各国の言葉も興味深く聞くことができた。

生活場面ごとに分けて紹介してあるので、興味のある場面を選んで見ることができるし、繰り返し見ることができるので、調べ学習に効果的である。

しかし、動画のため容量が大きく、配信環境が整っていないと一斉に学習することが困難である。本時も動画が途中で止まったり、スムーズに動かなかったりして、能率よく学習することが難しかった。

ICT 活用環境等

使用周辺機器	デスクトップパソコン 18台
使用ソフト名	アンニョンハセヨ！韓国の小学生の一日等(内田洋行)
使用教室	コンピュータ室